

## 令和3年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	九州大学	タイプ	A①
事 業 名	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム -プログラムのパッケージ化と ASEAN への展開-		
海外の相手大学	上海交通大学、釜山大学校、マレーシア工科大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、エネルギー、環境というグローバルな課題が多い分野において専門知識を有するグローバル人材の養成を目的とした独創的な構想である。養成する人材像が明確であり、全ての参加大学において相互のダブルディグリープログラムを実施又は計画している点や、サマースクール等のショートプログラムを効果的にダブルディグリープログラムに結び付けている点は評価できる。また、プログラム自走化に向けた体制整備が具体的に計画されていることから、補助期間終了後の事業継続が期待できる。更に、様々なプログラムを学生に提供し、選択の幅を広げて事業参加人数を増やす試みは、多様化する需要に応えつつ一定のアウトカムを維持する工夫として評価できる。実渡航なしのダブルディグリープログラムの実施という、時代の流れに迅速に対応した制度化に着手している点も評価できる。更に、これまでの実績を通して交流する相手大学と良好な関係性を構築し、養成する人材像に、理系グローバル人材としての要素の重要性を取り込んでいる点も優れている。

一方で、オンラインによる交流学生数、ダブルディグリープログラムを利用した日本人学生の派遣数が少ない点については改善が望まれる。更に、環境に関するグローバルな課題の解決には異分野との協力や知識が不可欠なため、総合大学である強みを活かし、教育内容をより学際的にしていくことを期待したい。また、これまでの修士課程ダブルディグリープログラムは成果を上げているが、それに続く博士課程ダブルディグリープログラムは研究インターンシップのみの実施に留まっており、一步踏み込んだプログラムの構築に至っていない点についても改善が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。